

住民主体で福祉のまちづくりを推進する情報交流紙です

よつ葉のクローバー KIKUSUI

No.53 2012.1.1.

菊水福祉のまち推進センター運営委員会
札幌市白石区菊水6条4丁目3-10
電話 011-887-7006 FAX011-811-3831
URL <http://kikusui-net.jp>



福まち通信

謹賀新年

謹んで新年のお慶びを
申し上げます

平成二十四年元旦

菊水地区福祉のまち

推進センター運営委員会

上町地区年末ジャンボ！餅つき大会開催



12月11日（日）午前10時から上白石小学校の体育館において、菊水上町連合町内会・上白石小学校おやじの会・菊水上町保育園おやじの会の共催による「年末ジャンボ餅つき大会」が開催されました。開会の10時には多数の親子連れが、会場を埋め尽くし、来場者数は150人程でした。

早朝から役員の皆さんが会場に集合され、餅米の搬入や会場の設営作業は済み、男性役員はガスコンロの上にセットされたステンレス製蒸籠（せいろ）3組の蒸し上

がりの状態に気を配っていました。また、女性役員は、テーブルに集まりボールの中に入ったあんを

丁寧に丸めていました。他の役員は、餅つきの準備に忙しく動き回っていました。

餅米が蒸し上がると会場内に、蒸し上がった餅米の懐かしい匂いがしました。3台の臼に蒸した餅米が入ると、男性役員が杵に体重をかけて米粒をつぶしていきます。餅つきが始まり、餅をつく音が「ペッタン」「ペッタン」と聞こえると、子どもたちから「ヨイショ!」「ヨイショ!」と掛け声と歓声が上がりました。



女性役員は、合いの手を入れて臼の中の餅を返していました。その女性役員は、つき上がった餅をテーブルの取り粉の上に置き、あん餅担当の女性役員は餅をちぎって、餅を円形に引き伸ばし、真ん中にあんを入れ、手で丸く形を丸めながら仕上げていました。

子どもたちの「餅つきタイム」となり、子ども達は、餅をつくのに順番に並び、なかには順番が来るとお父さんの力借りながら、杵

で餅を一生懸命にっていました。その場面は心暖まるものでした。現在、一般家庭では餅つきすることはなくなりましたが、餅つきは日本の良き伝統であります。今回、子ども達の餅つき体験の記憶は、大人になってからも楽しい思い出として残ると思いました。幼い子どもたちは、広い体育館の中を元気に駆け回って遊んでいました。

参加者の親子は、休憩用のテーブルで出来たての餅を談笑しながら、美味しそうに食べていました。



福祉施設利用者の方を招待

この餅つき大会には、地域の福祉施設利用者の方が招待されました。



それは、認知症対応型のグループホーム「ハートの家伍番館」の皆さんです。施設の職員の方に導かれて会場にやってきました。3人の方は会場の雰囲気にしだいに慣れてきて、笑顔が自然と出てきました。3人の方は、最初に、餅つきに挑戦しました。皆さんは、餅つきでは元気に杵を持ち上げていました。次に、あん餅

作りをしました。昔とった杵柄(きねづか)で慣れた手つきで、餅を上手に丸めあん餅を作りました。3人の方は、楽しそうに過ごされておりました。

施設の職員からは、「日常は単調な生活を過ごしております。このイベントで皆さんと交流することによって、心の張りや積極性が出てきます。これからも宜しくお願いします。」とお礼の言葉をいただきました。



子育てサロンのクリスマス会



12月13日（火）午前10時から菊水地区会館で子育てサロン「どんぐりころころ」が開催されました。子育てサロンは、地区民生・児童委員、地域の皆さんがボランティアとしてお手伝いしています。

定時になると、待ちかねていたようにお母さんと子ども達が続々と集まり、約40組の親子が参加しました。

会場内は、クリスマスの装飾といろいろな玩具が用意され、クリスマスの雰囲気でも盛り上がっていました。お母さんたちは、子どもが楽しめるゲームコーナーに集まり、子どもの姿を優しく見守りながらお母さん同士の会話を楽しんでいました。



次に、カエルさんの人形劇やハンドベルの演奏があり、参加者の皆さんはベルの響きに聞き入っていました。その後は、ハンドベルの体験コーナーとなり、親子が「ハンドベル」に挑戦し、喝采を受けました。



サンタさんとトナカイさんがプレゼントを持って登場すると、子どもたちから大きな歓声が湧き上がりました。今日のメインイベントであるサンタさんやトナカイさんからよい子たちにプレゼントが渡されると、その姿をお母さん達が写真を撮っていました。

最後に、「アンパンマン体操」は、全員で楽しく体操をしました。親子は、来年も元気で子育てサロンに参加してくださいとの声を掛けられ、クリスマス会は終了しました。



菊水やよい児童会館クリスマス会

12月22日（木）午前10時30分からやよい児童会館でクリスマス会が開催されました。このやよい児童会館は市から委託を受けた「札幌市青少年女性活動協会」が運営している施設です。乳幼児から高校生までの児童生徒が利用しています。館長はじめ2名の指導員が常勤し、利用者のお世話をしています。



当日は、34組の親子が参加しました。乳幼児は用意された玩具で遊び、12月生れの誕生日会と地域皆さんによる人形劇を楽しんだ後、サンタクロースが登場し、子どもたち一人ひとりにサンタさんからプレゼントが渡され、溢れる笑顔が会場を埋め尽くしました。最後に、「アンパンマン体操」は、全員が元気よく体操をして無事終了



しました。

館長から「来年も元気で児童会館に遊びにきてください。」とお話がありました。

「くらし安全マップ」配布します

この度、菊水地区まちづくりネットワーク会議は、子どもから大人まで安心して暮らせるまちづくりの一環として、菊水地区「くらし安全マップ」を作成しました。この地図のサイズは、A2サイズで横書きです。

このマップの主な要旨は、①白石区内の主な公共施設の電話番号、②防災情報（災害用伝言ダイヤル・非常持出し品・災害時の注意点等）、③緊急連絡先などの覚書欄、④菊水地区の地図などが掲載されており、主な公共施設・病院・公園等が一目で分かる内容になっています。

なお、各世帯への配布は2～3月頃を予定しております。



クリーンさっぽろ表彰式

12月3日（土）、午前9時45分から札幌市教育文化会館の大ホールにおいて「クリーンさっぽろ表彰式」が開催されました。菊水地区からは、団体の部として菊水上町第12自治会が、「クリーンさっぽろ実践模範地区」市長賞を受賞しました。受賞理由は、自治会清掃部が中心となって啓蒙活動を工夫し、マナー違反撲滅

のために啓発チラシを配布し、のぼりを立てて毎月ステーションの巡回指導を実施している活動が認められました。また、個人の部は、菊水1条3丁目町内会の衛生・厚生部長の長谷川一則さんが「クリーンさっぽろ衛生推進功労者」協議会会長賞を受賞しました。受賞理由は、長年にわたり、町内会の衛生部長等として、地域の環境美化活動に尽力されている行動が認められました。

日頃の清掃活動が認められた、菊水上町第12自治会の皆さん・菊水1条3丁目町内会の長谷川一則さん、受賞おめでとうございます。



編集後記

福まち通信は、今年で6年目に入ります。本年も宜しくお願い致します。昨年の流行語大賞に「絆」が選ばれました。それは、3.11 東日本大震災の大災害により、多くの人々に「絆」の大切さが再認識されました。特に、地域のつながりや家族との絆が必要であるとされた年でした。一方、世界経済は、急激な円高ドル安の進行・ヨーロッパの信用不安等があり、日本の景気も低迷した年でした。

今年は、明るい話題の多い年になると良いですね。

品川編集委員